

自分史 家族を見つめる本

出版のススメ研究会

自分史づくりを体験してみませんか？

家系図や家族年表を作成したり、写真整理の作業は必要だと思っても、中々ご自身の力だけでは進みません。まずは体験して最初のスタートを切ることが大事だと考えます。また、サポートする専門家に質問が出来たり、行う順番を考えてもらうことで、よりスムーズに完成できると思います。どうぞ最初の1歩を「まなびばオクヤマ」で体験してください。

まなびばオクヤマ

毎月一回、阿多古和紙原料の収穫及び加工紙漉き体験イベントやワークショップを開催しています。皆様のご参加をお待ちしております！

- ・自分史づくり体験
- ・楮原料づくり体験
- ・手漉きハガキづくり体験
- ・手漉き名刺づくり体験 等

まなびばサイト：<https://www.manabiba-okuyama.com/>

お問い合わせ先

株式会社 出版のススメ研究会
代表取締役 前田 浩
〒431-2224
静岡県浜松市北区引佐町奥山678-3
TEL/070-5541-3296
syuppannosusume@gmail.com

いつでもお気軽に
ご相談ください！

自分史とは

「自分史」とは、自分と家族の歩んできた、人生の記録です。生い立ちや、人生の軸になるような、一生懸命に行ってきたこと、思い出の写真等を1冊にまとめ、次の世代に伝えるための書籍です。

次の世代へと読み引き継がれ、先代の知恵や教えを知ること、自分のルーツを紐とくカギとなります。

阿多古和紙とは

静岡県浜松市天竜区・阿多古にて500年もの歴史を持つ、伝統和紙。阿多古では和紙の原材料(楮、三桮、雁皮)が多く自生し、古くから和紙づくりが伝えられてきました。一枚一枚力強く丁寧に手漉きされた和紙は、素朴で味わい深く、高い耐久性があります。かつては65軒も作っていたという阿多古和紙ですが、現在の継承者は「大城忠治」氏だた1人。地域文化資源を守り、継承するためにも、阿多古和紙の新しい活用法を模索する必要があります。



大城忠治 氏

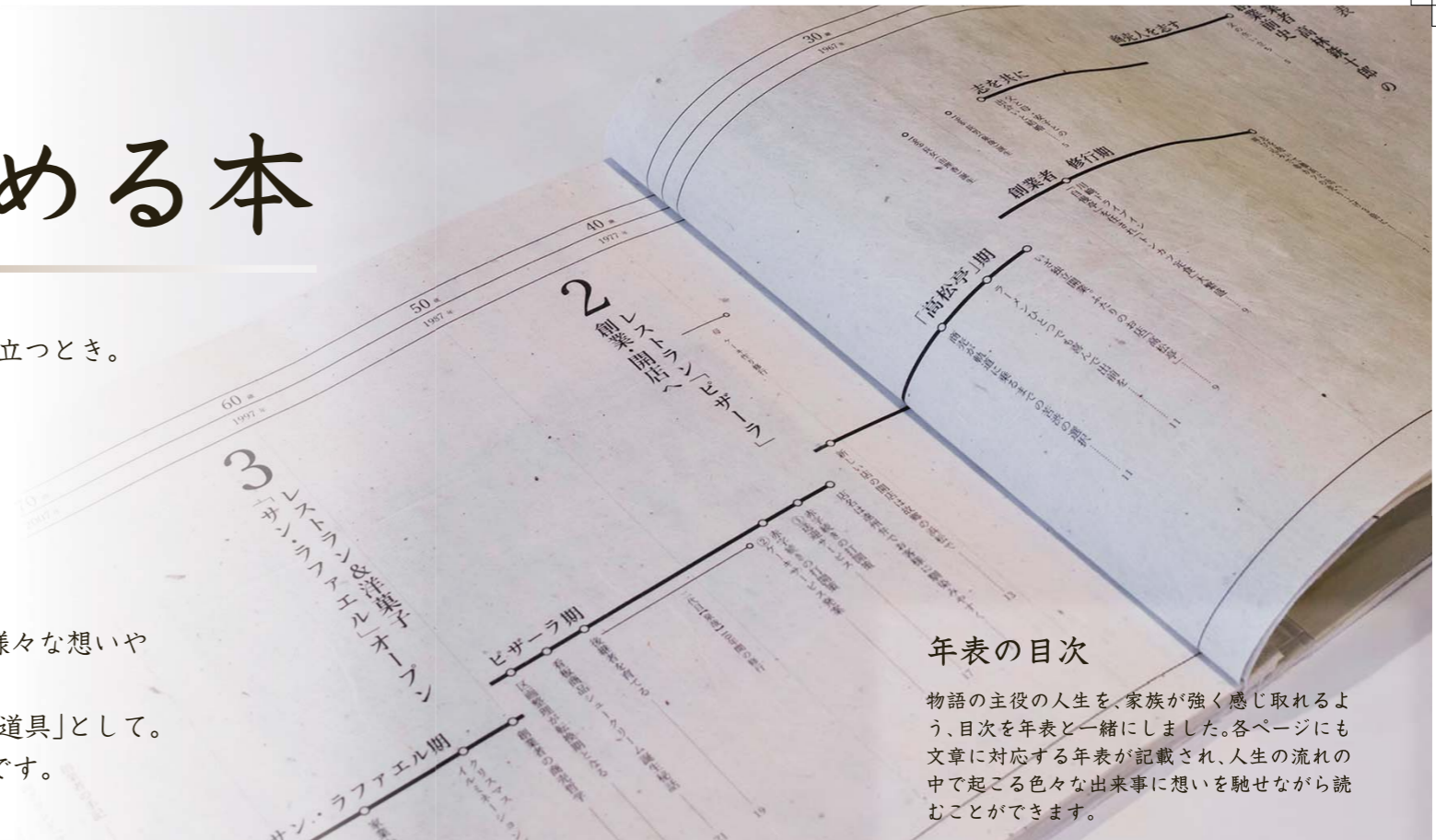
阿多古和紙紙のただ一人の継承者。89歳。この紙漉きの技を後世に遺したいと元気に活躍しています。車一台がやっと通ることができるほどの、細い山道を登った頂上に工房と家がある大城氏は毎年、地元の小中学校で紙すき体験の指導を行っています。



家族を見つめる本

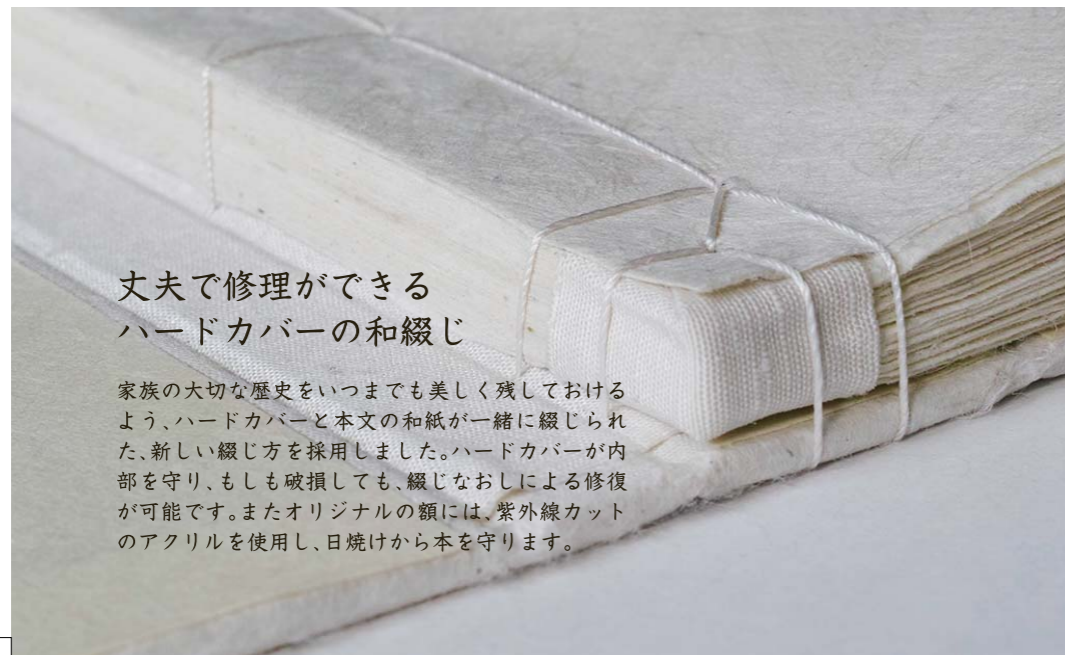
家族に自分のことをもっと知って欲しいと思いつき。
自分の人生を振り返り、話すとき。
最も家族らしいと思う写真を選ぶとき。
読みながら、当時を想像するとき。
読み終り、そっと閉じるとき。
子や孫に託すとき。

「家族を見つめる本」は、家族の間で交換される様々な想いや
願いを形にするものです。
記録としてではなく、「家族の絆を深めるための道具」として。
100年先に引き継いでいく、家族だけの歴史書です。



年表の目次

物語の主役の人生を、家族が強く感じ取れるよう、目次を年表と一緒にしました。各ページにも文章に対応する年表が記載され、人生の流れの中で起こる色々な出来事に想いを馳せながら読むことができます。



丈夫で修理ができる ハードカバーの和綴じ

家族の大切な歴史をいつまでも美しく残しておけるよう、ハードカバーと本文の和紙と一緒に綴じられた、新しい綴じ方を採用しました。ハードカバーが内部を守り、もしも破損しても、綴じなおしによる修復が可能です。またオリジナルの額には、紫外線カットの亚克力を使用し、日焼けから本を守ります。



みんなで読める、大判サイズ

家族が囲むテーブルで、当時の思い出を語らう姿を想像し、みんなが見られるよう、大きなサイズにしました。文字も写真も大きく印刷されているのが特徴です。

いつもそばに飾る 額型のケース

書・絵画・写真など、その家族の一番のお気に入りの表紙にすることができます。付属の額型のケースに入れ壁に飾れば、歴史の詰まったその家族だけの絵画になります。